

1、お金持ちが多いドバイ、労働状況は？

ドバイには外国人労働者が多い。人口の8～9割が外国人の多国籍国家だ。ちなみに日本の国籍別人口を調べると、およそ98%が自国民となっている。フランス、イタリア、カナダも自国籍の人口は9割を超えている（文献1）。これを見ての通り、ドバイがどれだけ多国籍国家かということが分かる。ではなぜこれほど多くの外国人がドバイにはいるのか。その多くは外国人労働者だ。外国人労働者が多いといっても、日本人の労働者はそれほど多くはない。私がドバイに住んでいた時にも東南アジア、南アジアの人が多いた。これらのことから、なぜこれだけ多くの外国人労働者が集まるのかという疑問にたどりついた。

2、UAEの労働状態における課題の現状

ドバイには多くの外国人労働者がいる。アジア、欧米諸国、ヨーロッパとさまざまなところから来ている。そのなかでもとくに多いのが、インド、パキスタン、バングラディッシュ、フィリピンといった東南アジア、南アジアの国々だ（文献2）。その人たちの主な仕事はタクシー運転手、清掃、建設業などの肉体労働、家政婦といろいろだ（文献3）。

今回は、その中でも移動中にもよく目にする建設業などの肉体労働者に注目する。もちろんその中に女性はいない。肉体労働者の大半がインド、ネパール、バングラディッシュ、パキスタンなどの南アジアの出身者だ（文献3）。仕事に着目してみると、国家公務員のほとんどが現地の人で占められている。しかし外国人居住者は、外資系企業に勤めているか、安い賃金で過酷な労働に従事している出稼ぎなどで滞在している貧困層にわけられている（文献4）。肉体労働をしている彼らは、その貧困層に分けられる。そのような低賃金であり労働条件が良くないのに労働者が集まってくるのだろうか。“祖国には仕事がなく、収入を得られない”（文献5）。“低賃金ではあるものの、職場には母国語を話す同郷の仲間が多くいる”（文献5）。“祖国よりも稼ぐことができる”（文献6）。といった理由から仕事を求めてくる人が多くいる。では、出稼ぎ労働者たちの労働状態はどのようなのだろうか。

肉体労働をしている低賃金労働者は、ドバイでは普通の地区には住めず、みんなまとめて「レイバー・キャンプ（図1）」と呼ばれる場所に押し込まれてそこで暮らすことになる（文献9）。彼らは、「政府が1部屋4人まで」のはずが8人も詰め込ま



（図1）

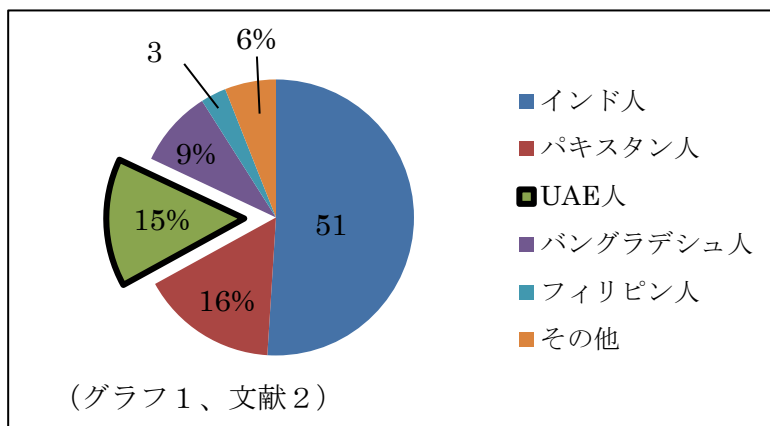
れるという（文献7）。それでも耐えるのは祖国での自給がここの20%ほどしかない人も多いからだ（文献7）。「長居させないため、意図的に劣悪な労働環境を維持する政策がと

られてきた。」と地元メディアは言ったそうだと（文献7）。年収別にみてもあきらかにひどい状態ということが分かる（表1）。UAE人の年収が多いことにも目がいくが、それ以上に労働キャンプの人たちの年収の少なさの方が驚きだ。このような中、祖国にいる家族に仕送りまでしている。これらの過酷な労働条件から「奴隷扱い」と国際的な批判を浴びるが、改善はされていないそうだと（文献7）。さて、そのような人たちはどのようにドバイに行くのか。実は斡旋業者がいる。これはバングラデシュ人の話だ。斡旋業者はドバイまでの運賃を立て替え、バングラデシュ人に借金として負わせる（文献9）。それから彼らをドバイのレイバー・キャンプに彼らを送り込むのだが、その際に給料から強制的に50%以上を徴収する（文献9）。そうすると、彼らは最初の半年～1年は借金を返すための無償労働となり、2年目以降からやっと労働が自分たちの給料になる（文献9）。

（表1、文献8）

平均世帯年収（給料のみ）	2014年
UAE人	1400万円
非UAE人	750万円
労働キャンプ（肉体労働者など）	82万円

グラフ1のようにドバイの人口の多くが外国人ということが分かる。そのほとんどが南アジア出身者の出稼ぎ労働者だ。彼らは祖国では仕事がなかったり、ドバイ以上に稼ぐことができなかつたりと、さまざまな理由がありドバイに仕事を求め集まっている。ドバイに着くまではそこがどれだけ過酷な環境なのかは誰も知らない。来る人の中に字が読める人はとても少ない。そんな彼らは意味も分からない契約書にサインさせられ、ひどい扱いを受ける。そのような中、祖国にいる家族にお金を送るために働き続けている。



3、格差が生まれたわけは...？

ドバイ国民は公立高校については大学まで無料、医療費も無料、電気、ガス、水道全て無料、さらに消費税も住民税も所得税もない（文献11）。さらには国民同士の結婚にはお祝い金が何百万円ともらえ、さらに子供ができれば驚くほどの金額の児童手当まで支給される（文献11）。UAEという国は、自国民の経済的不満を和らげるためのコスト増加は、

結果として外国人労働者の労働環境（賃金・待遇を含めた）の悪化につながる（文献10）。民間企業に対して自国民の雇用を保証させることは、民間企業の収益を圧迫することになる。そのため、民間企業は自らの経営改善のために外国人給与など短期的に削減しやすいコストをカットする傾向がある（文献10）。実際に、**Gulf Business** 誌による外国人給与調査等でも2012年以降月額給与が低下傾向にある（文献10）。一般的に、UAEの外国人労働者の中で欧米系の月額給与が最も高く、アラブ系、アジア系の順で低くなる傾向がある（文献10）。南アジア出身の彼らはもちろんアジアだから1番低いランクとされる。

ドバイ（UAEという国）は、自国民が第一優先だということ。給料が国籍によって変わるうえに、彼ら低賃金労働者は一般的な企業についているアジア人がもらう額よりもさらに少ないということ。これらが重なっていき、お金持ちで裕福な自国民（UAE人）。そして、良い給料をもらえないため、厳しい環境の中生活しなくてはならない南アジア出身の労働者たち。といった格差が生まれてきてしまい、これを改善しようと国が動くことがないために格差がなくなるのだと思う。

4、ドバイと低賃金労働者の将来は...

出稼ぎ労働者たちはいい仕事をして、いい加減な仕事をして同じ低賃金しかもらえない（文献12）。テキパキ仕事をして、だらだら仕事をして、これまた賃金は変わらない（文献12）。そのため、時間をかけてだらだらしながら仕事をする、というのが彼らの労働スタンスになっている（文献12）。UAE国籍の人間はほとんど現場に足を運ばずオフィスから命令だけをしている。手抜き工事が蔓延しているため、ドバイでは故障などが多く、納期が遅れる（文献12）。今後も労働者への賃金が少ないなら、彼らは手を抜いた、形だけの仕事をするから故障が増えていく一方だと思う。

このまま低賃金で働かせていたら労働者が減ってしまうのではないかと思った。だが、祖国には仕事がない。だから仕事があるドバイに集まってくることは変わらない。もし、これ以上UAE人が増えたら今以上にUAE人への学校費、医療費などが必要となる。そうなると、彼ら労働者はもっと低賃金になるのではないだろうか。これ以上彼らに対する扱いがひどくなるとどうなるのだろうか。今でも「奴隷扱い」「人間とみられてない」といったこえがあるのにこれ以上はひどすぎると思う。

ドバイで多くの建設途中の建物を見てきた。ここにも労働者の仕事の遅さと、いい加減さが出ている。今ではユニークな形のビルやぎらぎらと輝いているビルと色々あるが、仕事の質が落ちてれば、劣化していくばかりである。華やかなドバイが失われていくかもしれない。UAE人の人口が増えたら外国人労働者の負担がこれ以上に大きくなっていくだろう。

5、まとめ

“お金持ちが多いドバイ、労働状況は？”というテーマで進めてきた。

現状

ドバイの人口の8割以上が外国人。その多くが南アジア出身者の出稼ぎ労働者である。彼らは最悪な環境で祖国にいる家族にお金を送るために働き続けている。

背景

UAE という国は自国民ファーストの国なため、給料はもちろん UAE 人が1番多くもらっている。また、学校費、医療費などが無料。消費税、所得税などもかからない。しかしこれらを負担しているのは外国人労働者たちである。肉体労働をしている低賃金労働者たちは、そういった保護が一切ないため厳しい環境での労働で、国を支えている。

影響

低賃金労働者はどんなに良い仕事をしようが、だらだらしようが、低賃金に変わりがない。彼らは時間をかけてだらだらと仕事をするため、故障が多く、納期も遅れる。UAE 人の人口が今よりも増えたら外国人労働者の負担がさらに大きくなる。彼らの扱いがさらにひどくなることだろう。

現在のドバイは働いているのはほとんどが外国人だ。世の中にはいろいろな税金の種類があるが、UAE 人はそれを払う必要がなく学校費などの費用も無料だ。そのうえ結婚などのお祝い事があると国からお金が送られてくる。だから、UAE 人は働く必要がほとんどないのだ。その UAE 人にいくお金の負担をしているのは、外国人労働者だ。肉体労働者たちの賃金を最低限に抑えてその分を自国民にまわしているのだと思う。あまりにも環境がひどいから、もっと改善するべきだと思う。メディアに取り上げられるのは華やかなドバイだが、それらを支えているのは彼ら労働者といってもいいだろう。

7、参考文献

- 1 livedoor NEWS 「日本の国籍別人口は？財務省統計局が公開した資料を読み取る」
〈<http://news.livedoor.com/article/detail/10470834/>〉
- 2 アブダビ・ドバイスタイル - ジェトロ
〈https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/8a510d662cfc29f9/1_overview.pdf〉
- 3 戒め【ドバイ住民の90%を占める外国人労働者が、お金と引き換えに失ったものは】
〈<http://blog.goo.ne.jp/lovemoonayano/e/af70025f776372aa0466288599bc1bfb>〉
- 4 ドバイの栄華の足元には外国人労働者の奴隷労働。搾取される人たち。
〈<http://kaigai-news.xyz/2015/11/08/%E3%83%89%E3%83%90%E3%82%A4%E3%81%AE%E6%A0%84%E8%8F%AF%E3%81%AE%E8%B6%B3%E5%85%83%E3%81%AB%E3%81%AF%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E5%8A%B4%E5%83%8D%E8%80%85%E3%81%AE%E5%A5%B4%E9%9A%B7%E5%8A%B4%E5%83%8D/>〉
- 5 ドバイ急伸、労働者を引きつける秘密 低賃金だが数年で祖国に家が建つ
〈<https://matome.naver.jp/odai/2140456495905595601>〉
- 6 平均給与から働くメリットまで！ドバイの働き方ガイド
〈<http://seiwanshipida.com/archives/2875>〉
- 7 ドバイ - 超高層ビル情報 - FC2
〈<http://toolbiru.web.fc2.com/topic/top-06.07.09.htm>〉
- 8 UAE 人（ドバイ）の年収は1000万超え！超格差社会のドバイの実態
〈<http://seiwanshipida.com/archives/3071>〉
- 9 もし、あなたがドバイで建設労働したらいくら稼げるのか？
〈<https://www.blackz.net/blackasia/content/20141207T0317090900.html>〉
- 10 UAE 自国民優遇政策の外国人労働者への影響 - ジェトロ・アジア経済研究所
〈http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Download/Overseas_report/1404_saitojun.htm
1)〉
- 11 バイトなんかせずにニートでいなさい！親が子にニートを勧めるドバイ
〈<http://toppy.net/special/dubai3.html>〉